

令和5年度 高齢者の保健事業セミナー 実施状況調査 集計結果報告

国民健康保険中央会
保健福祉部 保健事業課

目次

I 調査概要	2
II 令和5年度 調査結果集計報告	4
1. 高齢者の保健事業セミナーの開催状況	5
2. 高齢者の保健事業セミナーの参加状況	8
3. 高齢者の保健事業セミナーの実施状況	10
4. 高齢者の保健事業セミナーの振り返り	13
5. 高齢者の保健事業セミナーへの「ハンドブック」の活用状況	17
6. 国保中央会より公表している高齢者保健事業関係の資料	19
III 令和5年度の調査結果まとめ	20
IV 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果集計報告	22
1. 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果まとめ	23
2. 高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）	24
3. 高齢者の保健事業セミナーの参加状況（経年比較）	29
4. 高齢者の保健事業セミナーの実施状況（経年比較）	30
5. 高齢者の保健事業セミナーの振り返り（経年比較）	33

I 調査概要

高齢者の保健事業セミナー実施状況調査

◆調査目的

令和元年10月、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会のもとに設置した「高齢者の保健事業ワーキング・グループ」にて検討した「高齢者の保健事業セミナー実施指針」を国保中央会より発出。当該指針に基づき、国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という）では後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という）の構成市町村を対象に高齢者の保健事業セミナーを実施している。令和4年3月には、同方針を「高齢者保健事業の実施支援ハンドブック」（以下「ハンドブック」という）と名称変更し改訂した他、別添資料としてデータの見える化に役立つ「データ活用事例レイアウト集」を作成した。本調査は高齢者の保健事業セミナーの実施状況について把握し、「ハンドブック」他、各種資料等の見直し等に活用することを目的とする。

◆調査概要

年度末に実施している事業報告書調査の中で「セミナー実施編」として、国保連合会を対象に以下の調査を実施。

区分	調査対象	調査時期	調査内容
高齢者セミナー	国保連合会	令和6年1月12日～ 令和6年3月29日	セミナーの開催状況、参加状況、セミナー実施の振り返り、ハンドブックについて 等

◆回収状況

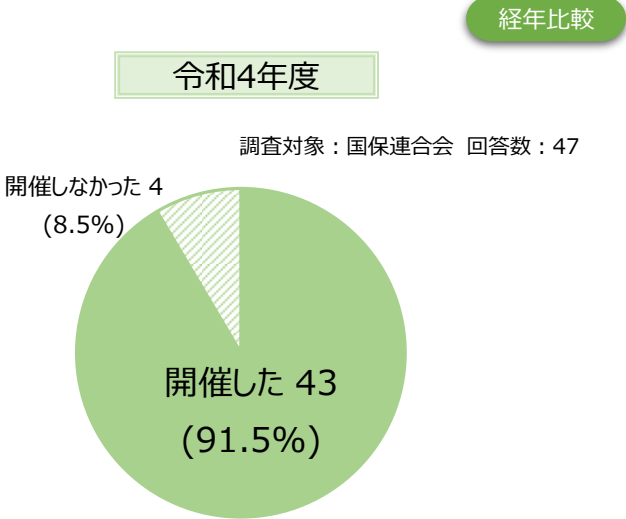
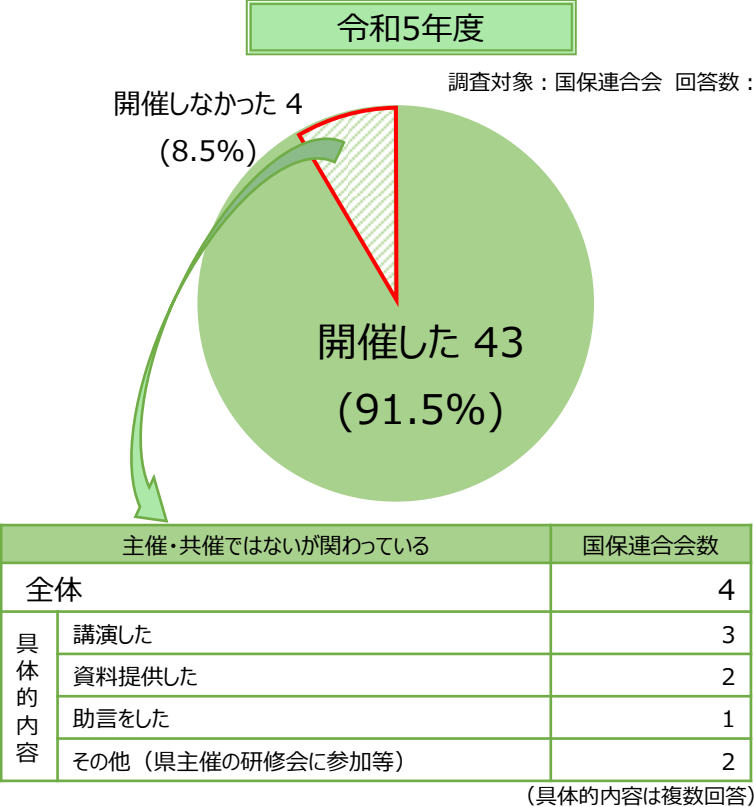
調査対象数	回収数	回収率（％）
47	47	100

Ⅱ 令和5年度 調査結果集計報告

1.高齢者の保健事業セミナーの開催状況

高齢者の保健事業セミナーの開催状況

- 高齢者の保健事業セミナーの開催状況は、「開催した※」国保連合会が43連合会(91.5%)であり、「開催しなかった」は4連合会(8.5%)であった。開催しなかった4連合会についても、何らかの内容でセミナーに関わっていた。
- 開催割合については、令和4年度と同数であった。
- ★開催した都道府県については、右表参照（開催は○）。 セミナーの参加人数については、P.8参照。



※「開催した」に該当するのは、国保連合会が主催者または共催者として関わったセミナーであること（他研修等に組み込み実施した場合やヘルスサポート事業以外で実施した場合も含む）

No.	都道府県	令和5年度	令和4年度
1	北海道	○	○
2	青森県	○	○
3	岩手県	○	○
4	宮城県	○	○
5	秋田県	○	○
6	山形県	○	○
7	福島県	-	-
8	茨城県	○	○
9	栃木県	○	○
10	群馬県	○	○
11	埼玉県	○	○
12	千葉県	○	○
13	東京都	○	○
14	神奈川県	○	○
15	新潟県	-	-
16	富山県	○	○
17	石川県	○	○
18	福井県	○	○
19	山梨県	○	○
20	長野県	○	○
21	岐阜県	○	○
22	静岡県	-	○
23	愛知県	○	○
24	三重県	○	○
25	滋賀県	○	○
26	京都府	○	○
27	大阪府	○	○
28	兵庫県	○	○
29	奈良県	○	○
30	和歌山県	○	○
31	鳥取県	○	-
32	島根県	○	○
33	岡山県	○	○
34	広島県	○	○
35	山口県	○	○
36	徳島県	-	-
37	香川県	○	○
38	愛媛県	○	○
39	高知県	○	○
40	福岡県	○	○
41	佐賀県	○	○
42	長崎県	○	○
43	熊本県	○	○
44	大分県	○	○
45	宮崎県	○	○
46	鹿児島県	○	○
47	沖縄県	○	○
開催合計		43	43

1.高齢者の保健事業セミナーの開催状況

セミナーを開催する目的・ねらい

- セミナーを開催する目的・ねらいについては、「一体的実施事業の知識の習得」が最も多く、次いで「保険者（構成市町村）間の情報共有（先行事例・好事例の共有）」であった。

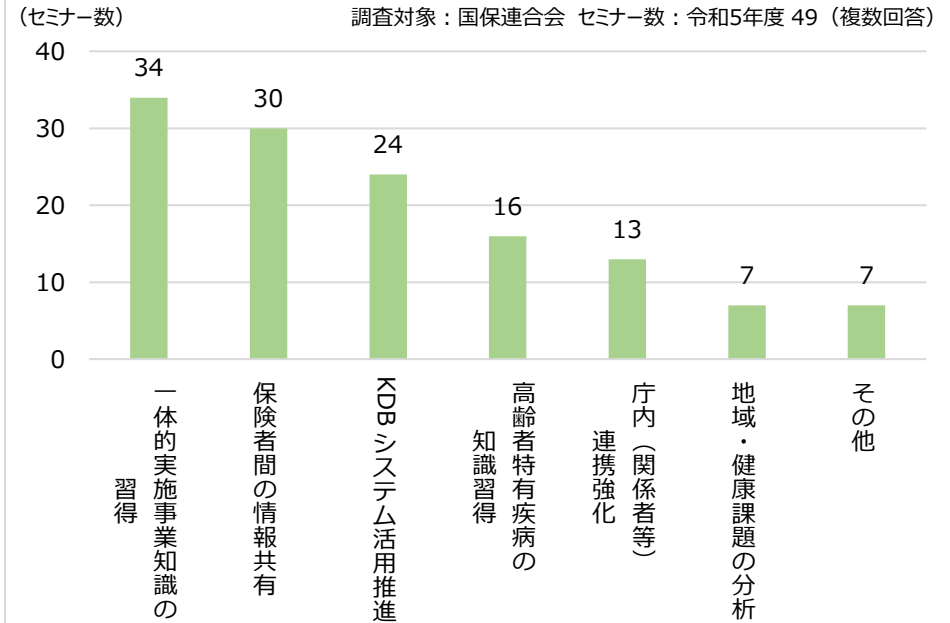
その他の内容

- 多様な「通いの場」を創出するための展開方法について理解を深める。
 - 令和5年度に開始した市町村及び令和6年度に開始予定の市町村を対象とした、対象者の選定や事業実施後の評価及び改善策等、事業実施の中で主要な課題となる事項に係る学習。
- 他

セミナーの開催方法

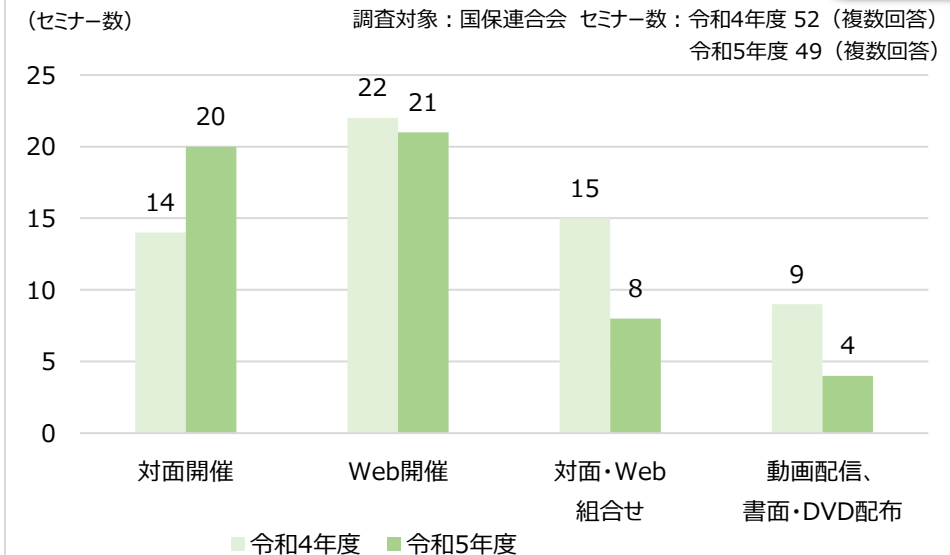
- セミナーの開催方法別にセミナー回数を集計したところ、「Web開催」が最も多かった。
- 令和4年度と比較すると、「対面」のみの開催が増加しており、「対面・Webの組合せ」、「動画配信、書面・DVD配布」が減少していた。

セミナーの目的・ねらい



セミナーの開催方法

経年比較



1.高齢者の保健事業セミナーの開催状況

セミナーの開催月

○**セミナーを開催した月**※1は、4月を除き1年を通して均一に開催される傾向であった。

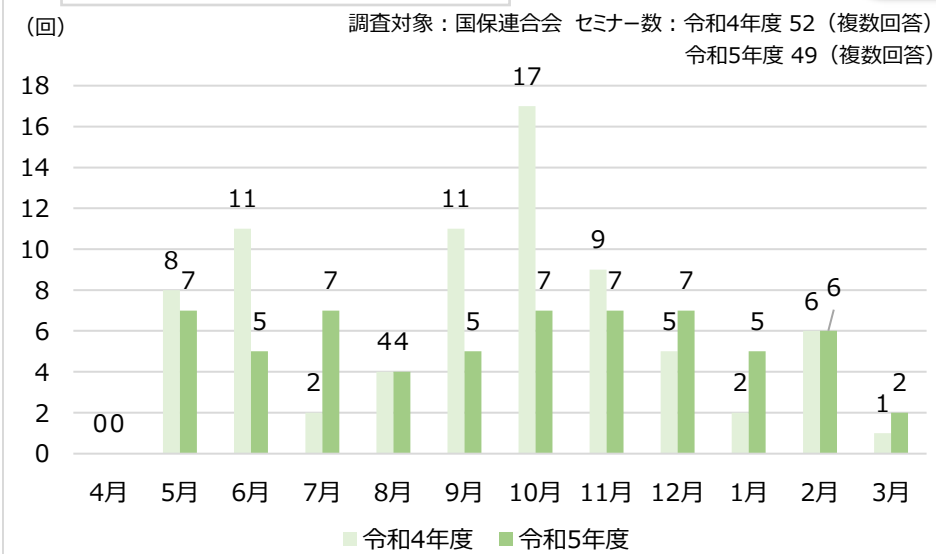
※1 同内容のセミナーを複数回開催している場合は、各回それぞれの開催した月でカウントし、長期間の動画配信等の場合は、初回配信月で1カウントし集計している。

○**セミナー開催月ごとに開催する目的・ねらいを集計**※2すると、「KDBシステム活用推進」は5月が多く、「保険者（構成市町村）間の情報共有」は10月、11月に多かった。他の目的の研修は特に実施時期の傾向は見られなかった。

※2 同内容のセミナーを複数回開催及び1回のセミナーで2つ以上の内容を含んでいるセミナーがあるため、P.6と上段の「開催回数」とは一致しない。

セミナーの開催月別の開催回数

経年比較



セミナーの目的・ねらいと開催月ごとの開催回数

(回)

セミナー開催月	一体的実施事業知識の習得	保険者間の情報共有	KDB活用推進	高齢者特有疾病の知識の習得	庁内（関係者）連携	地域・健康課題等の分析
5月		1	7		1	
6月	1	1	4		1	
7月	5	3	4	2	2	1
8月	4	4	2	2	2	
9月	2	3	2	2	2	
10月	5	6	4	1	2	1
11月	6	6	2	2	1	2
12月	4	4	2	3	2	1
1月	4	4	4	2	3	1
2月	5	5	4	2	5	1
3月	2	1	1			
合計	38	38	36	16	21	7

2.高齢者の保健事業セミナーの参加状況

セミナー参加保険者数 (都道府県別)

○参加保険者数（参加有無）
については、必須回答（濃い緑
欄）とし、参加人数については
任意回答とした。（Web開催
等で具体的な人数の把握が難
しいため）

○セミナー数、開催回数ともに、令
和4年度より減少していた。

No.	都道府県	セミナー数	開催回数 ※1	市町村						都道府県				広域連合		国保組合		⑨その他 参加人数	参加 保険者 合計 ①+③+⑤ +⑦	参加人数 合計 ②+④+⑥ +⑧+⑨		
				①参加 市町村 数	参加人数内訳					②参加 人数 合計	③参加	うち、保健 所参加	④参加 人数	うち、保健 所参加人数	⑤参加	⑥参加 人数	⑦参加 国保組合数				⑧参加 人数	
					国保 部門	衛生 部門	介護 部門	後期 高齢者 部門	その他 ※2													
1	北海道	2	2	295	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	2	7	4	-	-	303	15	
2	青森県	1	1	30	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	33	-	
3	岩手県	1	5	27	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	1	1	-	30	4	
4	宮城県	1	1	32	151	-	-	-	-	151	1	1	12	8	1	7	-	-	4	34	174	
5	秋田県	1	1	23	4	14	1	4	-	23	1	-	1	-	1	8	-	-	-	25	32	
6	山形県	1	1	32	20	52	3	18	-	93	1	1	11	6	1	2	-	-	-	34	106	
7	福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	茨城県	2	5	80	67	59	16	21	-	163	1	-	3	-	2	-	-	-	-	83	166	
9	栃木県	1	1	19	-	-	-	-	-	-	1	1	9	6	1	4	-	-	-	21	13	
10	群馬県	1	1	28	15	16	7	16	6	60	1	-	2	-	1	3	-	-	-	30	65	
11	埼玉県	1	1	58	68	38	23	-	-	129	1	-	2	-	1	3	-	-	-	60	134	
12	千葉県	1	1	48	33	83	-	29	-	145	-	-	-	-	1	5	-	-	-	49	150	
13	東京都	2	2	88	34	26	52	30	-	142	2	-	4	-	2	4	1	-	3	93	153	
14	神奈川県	1	1	27	15	38	10	7	-	70	1	1	17	10	1	-	-	-	-	29	87	
15	新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	富山県	1	1	11	14	15	4	5	-	38	1	1	10	5	1	5	-	-	9	13	62	
17	石川県	1	1	19	25	25	16	13	-	79	1	-	9	-	1	12	-	-	-	21	100	
18	福井県	1	1	17	8	24	-	6	-	38	1	-	1	-	1	1	-	-	-	19	40	
19	山梨県	2	7	41	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	2	4	-	-	4	45	11	
20	長野県	1	1	65	17	131	17	16	-	181	1	1	25	18	1	2	-	-	-	67	208	
21	岐阜県	1	1	29	22	19	6	15	-	62	1	-	4	-	1	2	-	-	-	31	68	
22	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	愛知県	1	1	45	48	33	4	10	-	95	1	1	8	8	1	2	1	2	-	48	107	
24	三重県	1	1	26	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	28	-	
25	滋賀県	1	1	17	4	11	1	18	-	34	1	-	1	-	1	2	-	-	-	19	37	
26	京都府	1	1	26	23	65	9	8	-	105	1	1	23	13	1	4	-	-	-	28	132	
27	大阪府	1	1	33	15	36	4	-	-	55	1	-	2	-	1	4	-	-	-	35	61	
28	兵庫県	1	2	40	4	36	15	25	-	80	1	-	3	-	1	-	-	-	-	42	83	
29	奈良県	1	1	34	34	21	7	2	-	64	1	1	8	3	1	4	-	-	-	36	76	
30	和歌山県	2	2	44	3	7	18	14	39	81	2	-	4	-	2	3	-	-	-	48	88	
31	鳥取県	1	1	16	5	32	18	-	-	55	1	1	3	2	1	3	-	-	4	18	65	
32	島根県	1	1	15	10	36	5	1	5	57	1	1	11	5	1	3	-	-	5	17	76	
33	岡山県	1	1	26	8	20	4	3	-	35	1	1	14	12	1	5	-	-	-	28	54	
34	広島県	1	1	19	-	-	-	31	-	31	1	-	4	-	1	3	-	-	-	21	38	
35	山口県	1	1	14	20	8	1	6	-	35	1	-	5	-	1	5	-	-	-	16	45	
36	徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
37	香川県	1	1	17	11	22	4	2	-	39	1	-	2	-	1	8	-	-	20	19	69	
38	愛媛県	1	1	20	27	44	8	4	1	84	1	-	3	-	1	2	-	-	-	22	89	
39	高知県	1	1	19	16	40	7	6	5	74	1	1	11	8	1	3	-	-	-	21	88	
40	福岡県	1	1	52	16	87	4	-	1	108	1	-	1	-	1	5	-	-	-	54	114	
41	佐賀県	1	1	20	18	40	8	6	-	72	1	-	3	-	1	4	-	-	-	22	79	
42	長崎県	1	1	21	36	16	-	21	-	73	1	-	9	-	1	8	-	-	-	23	90	
43	熊本県	1	1	8	7	4	1	-	-	12	-	-	-	-	1	3	-	-	-	9	15	
44	大分県	1	1	15	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	3	-	-	2	17	9	
45	宮崎県	1	1	26	15	25	9	11	11	71	1	-	6	-	1	4	-	-	-	28	81	
46	鹿児島県	1	1	43	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	47	-	
47	沖縄県	2	2	78	8	277	78	-	-	363	2	-	4	-	2	8	-	-	4	82	379	
合計		49	62	1,643	821	1,400	360	348	68	2,997	46	15	251	107	49	157	10	3	55	1,748	3,463	
令和4年度合計		52	76	1,438	1,112	1,651	625	391	349	4,128	※3	-	-	266	122	-	170	2	2	80	-	4,646

※1 複数回セミナーを開催している都道府県の
参加保険者・人数は延べ数。

※2 Web開催等で所属部署が不明の場合は、
「その他」に集約して記載している場合がある。

※3 令和4年度の「-」については、未調査。

2.高齢者の保健事業セミナーの参加状況

セミナーの保険者別参加人数

○市町村の部門別参加人数は、「衛生部門」が最も多く、次に「国保部門」であった。

○「その他」の部門は、「地域包括支援センター」、「健康政策課」等であった。

★本項目は、任意回答で調査したもの。

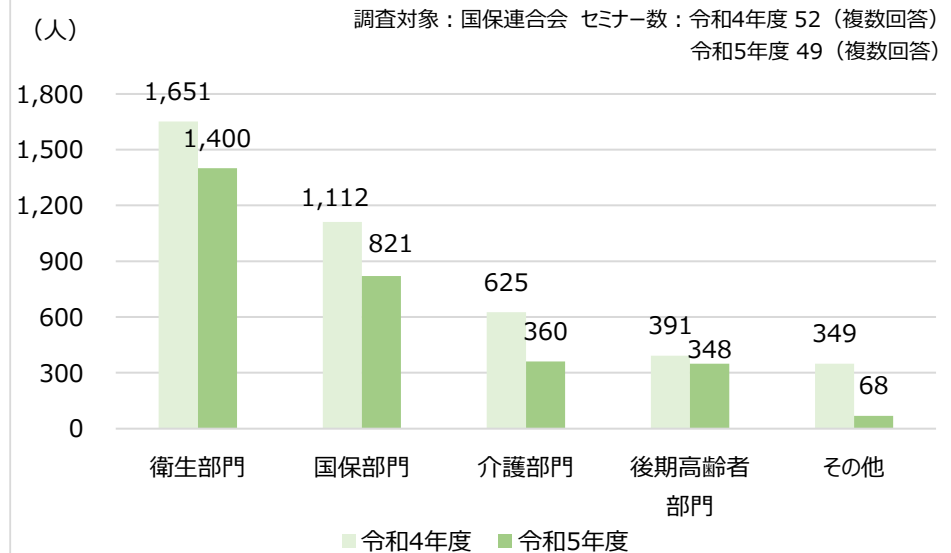
○市町村以外の保険者別参加人数は、「都道府県」が最も多かった。

○「その他」は、「厚生労働省」、「地方厚生局」、「介護広域連合」、「支援・評価委員会」、「在宅保健師等会」等であった。

★本項目は、任意回答で調査したもの。

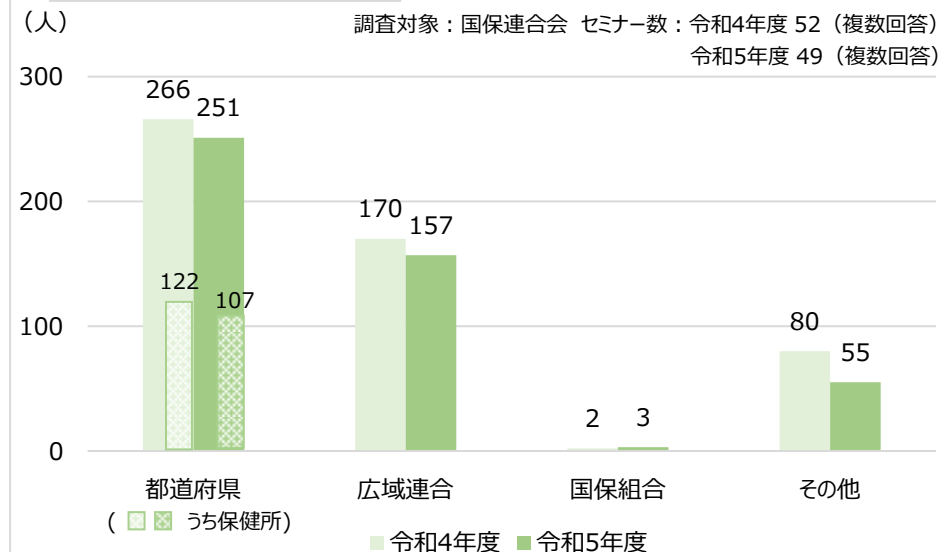
参加人数（市町村）

経年比較



参加人数（市町村以外）

経年比較

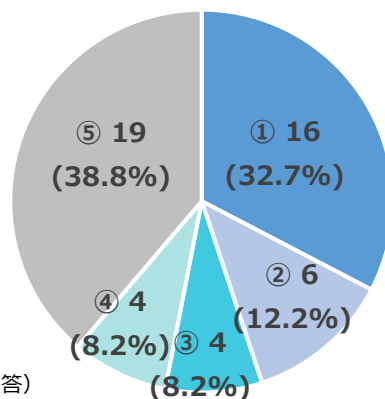


3.高齢者の保健事業セミナーの実施状況

セミナーの主催者・共催者

- **セミナー主催者、共催者**の組合せを集計すると、「国保連合会」の単独開催が最も多かった（32.7%）。
- 令和4年度と比較すると、国保連合会による単独開催、広域連合が主催するセミナーが増加した。

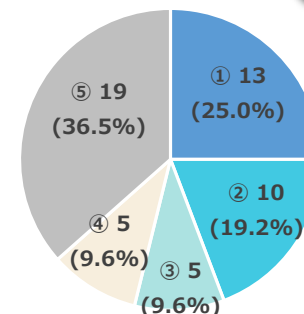
令和5年度



調査対象：国保連合会 セミナー数：49（複数回答）

	主催者	共催者	セミナー数	割合
①	国保連合会	なし	16	32.7%
②	広域連合	国保連合会	6	12.2%
③	国保連合会	広域連合、都道府県	4	8.2%
④	国保連合会、広域連合	なし	4	8.2%
⑤	その他		19	38.8%
	合計		49	100.0%

令和4年度



調査対象：国保連合会 セミナー数：52（複数回答）

	主催者	共催者	セミナー数	割合
①	国保連合会	なし	13	25.0%
②	国保連合会	広域連合、都道府県	10	19.2%
③	国保連合会、広域連合	なし	5	9.6%
④	国保連合会、広域連合、都道府県	なし	5	9.6%
⑤	その他		19	36.5%
	合計		52	100.0%

	主催者	共催者	セミナー数	主催者	共催者	セミナー数
その他	国保連合会	広域連合	3	国保連合会、都道府県	なし	1
	国保連合会、広域連合	都道府県	3	広域連合	国保連合会、都道府県	1
	国保連合会、広域連合、都道府県	なし	3	その他（支援・評価委員会）	国保連合会	1
	なし	国保連合会、広域連合	3	なし	国保連合会	1
	国保連合会	都道府県	1	なし	国保連合会、広域連合、その他（市町保健師協議会）	1
	国保連合会、都道府県	広域連合	1			

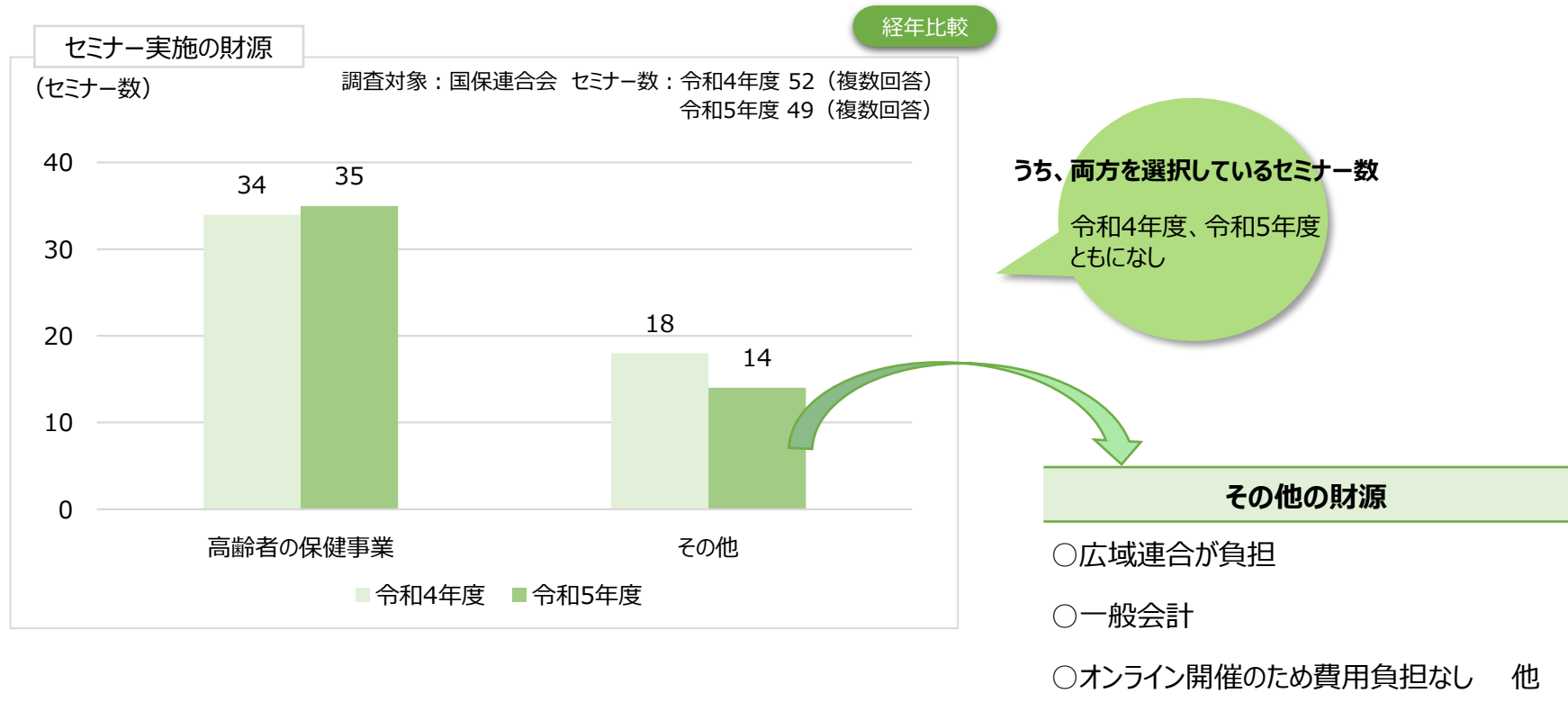
経年比較

3.高齢者の保健事業セミナーの実施状況

セミナー実施の財源

○**セミナー実施の財源**については、「高齢者の保健事業」が多かった。「その他」では、広域連合が負担しているという回答が多かった。

○令和4年度とほぼ同傾向であった。



3.高齢者の保健事業セミナーの実施状況

セミナー講師の選定状況（所属別）

○**セミナーの講師の所属先**については、**「大学」が最も多く、次に「国保連合会」、「市町村」であった。**

○令和4年度と比較すると、「国保連合会」が減少していた。

No.	都道府県	国保連合会	都道府県	市町村	広域連合	大学	医療機関	その他
1	北海道	○	○	○	-	-	-	-
2	青森県	○	-	-	-	-	-	-
3	岩手県	○	-	-	-	-	-	-
4	宮城県	-	-	○	-	○	-	-
5	秋田県	○	○	-	○	-	-	-
6	山形県	○	-	○	○	-	-	-
7	福島県	-	-	-	-	-	-	-
8	茨城県	○	-	○	○	○	-	-
9	栃木県	-	-	○	-	-	-	○
10	群馬県	-	-	-	-	○	-	-
11	埼玉県	-	-	-	-	○	-	-
12	千葉県	○	○	○	○	○	-	-
13	東京都	○	○	○	○	○	-	-
14	神奈川県	-	-	○	-	○	-	-
15	新潟県	-	-	-	-	-	-	-
16	富山県	-	-	-	-	○	○	-
17	石川県	-	-	○	○	○	-	-
18	福井県	○	-	-	○	○	-	-
19	山梨県	-	-	○	○	-	○	-
20	長野県	-	○	-	○	○	-	-
21	岐阜県	-	-	-	○	-	-	○
22	静岡県	-	-	-	-	-	-	-
23	愛知県	-	-	-	-	-	-	○
24	三重県	-	○	○	-	-	-	-
25	滋賀県	○	-	-	-	-	-	-
26	京都府	-	-	○	○	-	○	-
27	大阪府	○	-	-	-	○	-	-
28	兵庫県	○	○	○	○	○	-	-
29	奈良県	-	-	-	○	○	-	-
30	和歌山県	○	-	○	○	-	-	-
31	鳥取県	-	-	○	-	-	-	○
32	島根県	○	○	-	○	○	-	-
33	岡山県	○	-	○	○	○	-	-
34	広島県	-	-	-	-	-	-	○
35	山口県	-	-	○	-	○	-	○
36	徳島県	-	-	-	-	-	-	-
37	香川県	○	-	-	○	-	○	-
38	愛媛県	○	-	-	-	-	-	-
39	高知県	○	○	-	○	-	-	○
40	福岡県	-	-	-	-	○	-	-
41	佐賀県	-	-	-	-	○	-	-
42	長崎県	○	-	-	-	-	-	-
43	熊本県	-	-	-	-	-	-	-
44	大分県	-	○	-	-	-	-	-
45	宮崎県	-	-	○	-	○	-	-
46	鹿児島県	-	-	-	-	-	-	○
47	沖縄県	-	-	○	-	-	-	○
合計		19	10	19	18	20	4	9
令和4年度合計		30	10	19	17	17	3	12

その他に分類された所属	令和5	令和4
○研究所等	5	10
○薬剤師会	2	1
○栄養士会	1	0
○その他	1	1

4.高齢者の保健事業セミナーの振り返り ～国保連合会がセミナーを実施して良かった点～

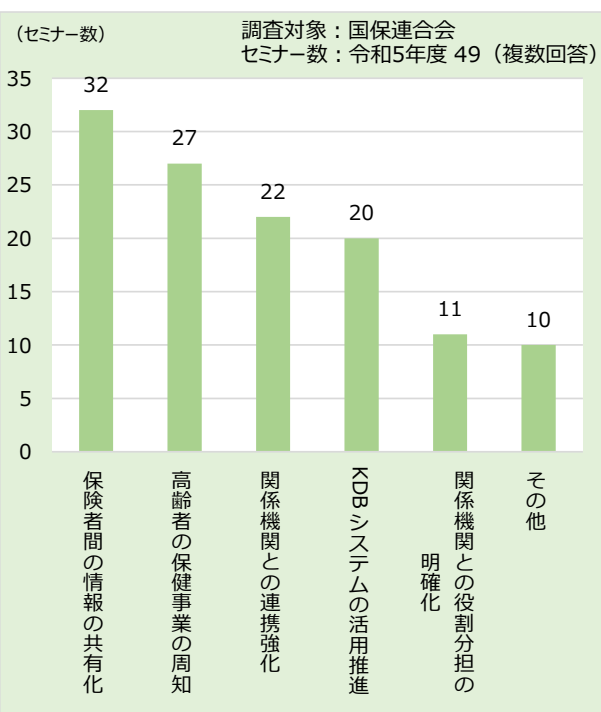
国保連合会がセミナーを実施して良かった点

セミナーを実施して良かった点の具体的内容

国保連合会が



セミナーを実施して良かった点



自由記述形式の具体的に良かった点を見ると以下のようなものがあった。

◆高齢者の保健事業の周知（15件）

- ・ 高齢者の特性を踏まえた事業実施のポイントを周知できた（2件）
- ・ 高齢者への支援を中心に病態から支援方法までを周知できた
- ・ 事業の概要からKDBシステムの活用方法まで、各種参考マニュアルや今後の動向等の周知、再認識ができた
- ・ 事業評価のポイントを提示し、一連の流れについて周知できた
- ・ 保険者の役割について周知できた
- ・ 必要な知識や最新の情報を提供できた
- ・ 住民主体の地域活動の重要性や最新情報を共有できた
- ・ 一体的実施に取組済み市町村、未実施の市町村どちらの参加者にも理解してもらえた 他6件

◆他保険者との情報交換・共有の場（13件）

- ・ 関係者間の情報共有の場となった（7件）
- ・ 受講者同士で情報交換を行う等、横のつながりが見られ、対面（集合）開催のメリットが発揮された（2件）
- ・ 進捗状況別で意見交換ができたので、課題等を共有共感しやすかった
- ・ グループワークで意見交換ができ、一体的実施に対する心理的なハードルを下げる事ができた
- ・ 情報交換を行うことで、他市町村の状況や取組を知り、自市町の課題等の発見につながった
- ・ 「情報交換会」として、自由に意見交換する時間を設けたことが良かった

◆KDBシステムの活用推進（10件）

- ・ KDBの操作感覚や概要について、概ね掴んでもらえた（2件）
- ・ 「一体的実施・KDB活用支援ツール」の活用方法について情報提供できた（2件）
- ・ 「一体的実施・実践支援ツール」について周知できた
- ・ 実機で実践いただくことで、KDBの操作をより身近なものに感じてもらうことができた 他4件



まとめ

自由記述の良かった点を見ると、高齢者の保健事業の周知に関するものが15件で最も多く、事業の概要から高齢者の特性を踏まえた事業実施、事業評価の他、最新情報を提供している。次いで、他保険者との情報交換・共有の場に関するものが多く、セミナーの対面開催の増加により、保険者同士で多くの意見交換等が行われ、情報共有を図ることができたとした意見が多くあげられている。

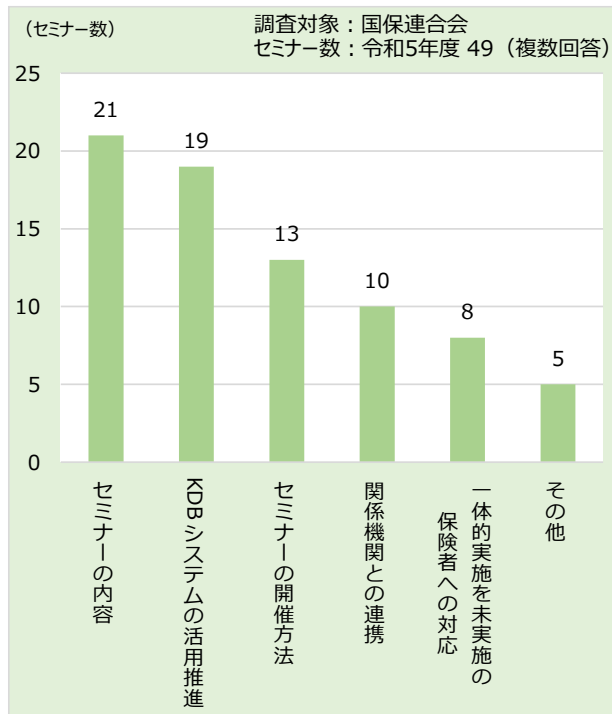
4.高齢者の保健事業セミナーの振り返り ～国保連合会にとっての課題～

国保連合会にとっての課題

高齢者保健事業
セミナーについての



国保連合会にとっての課題



まとめ

自由記述の国保連合会の課題を見ると、KDBシステムの活用に関するものが13件で最も多く、次いで、保険者や担当者の状況に合わせた研修実施で8件であった。双方ともに、一体的実施事業の理解度やKDBシステム等のスキルが保険者・担当者ごとで異なっているため、セミナー内容のレベルに苦慮している状況が伺えた。

国保連合会にとっての課題の具体的内容

自由記述形式の課題を見ると以下のようなものがあった。

◆KDBシステムの活用（13件）

- ・ 保険者や担当者ごとで、KDB等のスキルに差が生じているので、研修での説明の難しさを感じている（5件）
- ・ 一体的実施担当者のためだけのKDBシステム実機研修ができていない
- ・ 令和6年度に開始する市町村について、KDB活用を含めた支援が必要
- ・ 「一体的実施・実践支援ツール」の保健事業への活用方法 他5件

◆保険者や担当者の状況に合わせた研修実施（8件）

- ・ 保険者間の事業に対する理解度や取組状況に差が生じているため、テーマ等をどのようにしていくかが課題（7件）
- ・ 人口規模別、地域特性別も考慮した研修内容等の設定をすること

◆研修内容のブラッシュアップ（5件）

- ・ 説明・事例紹介・KDBシステムの説明の3点の内容の研修会になっており、研修内容がパターン化している
- ・ 参加者の要望を踏まえつつ現場での取り組みの推進につながるような内容を毎年検討していく必要がある
- ・ 一体的実施事業開始後のセミナーをどう展開していくか 他2件

◆関係機関との連携（4件）

- ・ 広域連合と役割分担を明確にし、役割に応じた研修内容の検討・企画する（3件）
- ・ 共同主催者間での役割分担及び費用負担についての調整をさらに明確化する

◆時間配分・スケジュール調整（4件）

- ・ セミナーに詰め込みすぎ、午後からの開催にしてほしい等の意見もあることから、プログラムの見直しが必要
- ・ 保険者のニーズに合わせて、セミナーの構成や時間配分、開催時期を検討することが必要 他2件

◆講師の選定（4件）

- ・ 高齢者の保健事業に関しての講師は多くないので、講師の選定が難しい
- ・ 講師依頼が他連合会と重なってしまい選定に苦慮することが多い 他2件

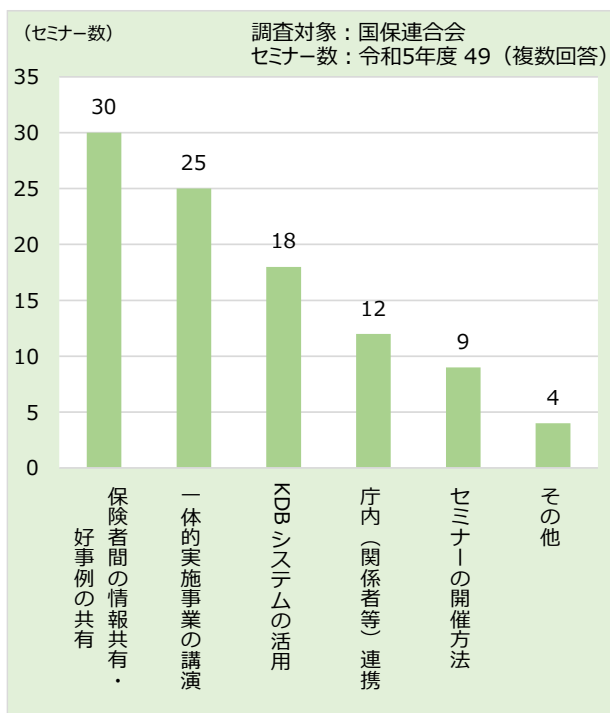
4.高齢者の保健事業セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する感想・良かった点～

保険者からのセミナーに対する感想・良かった点

保険者へのアンケート調査から



セミナーに対する感想・良かった点



まとめ

自由記述の感想・良かった点を見ると、他保険者の事例紹介に関するものが21件で最も多く、次いで、他保険者との情報交換・共有の場、一体的実施事業の講義、高齢者特有疾患等の解説であった。一体的実施事業の講義及び高齢者特有の疾患等の解説で知識が深まり、他市町村と事例や情報を共有することで具体的に取組のイメージが湧き、今後の事業展開への参考になっている。

セミナーに対する感想・良かった点の具体的内容

自由記述形式のセミナーに対する感想・良かった点を見ると以下のようなものがあった。

◆他保険者の事例紹介（21件）

- ・ 他保険者の事例を聞くことができ、取組の参考になった（12件）
- ・ 事例発表していただくことで取組状況がイメージしやすく、事業検討の材料となっている（2件）
- ・ 好事例の取組を共有することで、現場の苦労や思いが共感でき、取組方法が参考になった
- ・ 地域資源の活用や民間企業と協力した運営について参考になった
- ・ 目標設定や進め方など、大変勉強になった 他4件

◆他保険者との情報交換・共有の場（8件）

- ・ 課題等を情報交換し、取組の参考となる情報を得ることができた（4件）
- ・ 未実施市町村だけでの意見交換だったので負い目なく、自分たちの課題や分からないことを共感することができた
- ・ 情報交換することで、各市町村の横のつながりができた 他2件

◆一体的実施事業の講義（8件）

- ・ 一体的実施事業とデータヘルス計画、健康日本21との関係について理解できた
- ・ ハイリスクアプローチの際の保健師が担うべき役割や期待されている役割がよく分かった
- ・ 一体的実施事業を進めるうえでの知識や介護予防事業等の状況やKDB活用等有益な情報が学べた
- ・ 医療費等の抑制のために本事業があることを理解した 他4件

◆高齢者特有疾患等の解説（8件）

- ・ 高齢者の陥りやすい状況等専門的な内容が聞けたのがよかった
- ・ オーラルフレイル予防および歯科健診の重要性を再認識する機会となった
- ・ 高齢者の質問票の解説やフレイルリスクとの関連について具体的に聞いて参考になった
- ・ 高齢者の血圧コントロールや透析に対する考え方について学ぶ機会となった 他4件

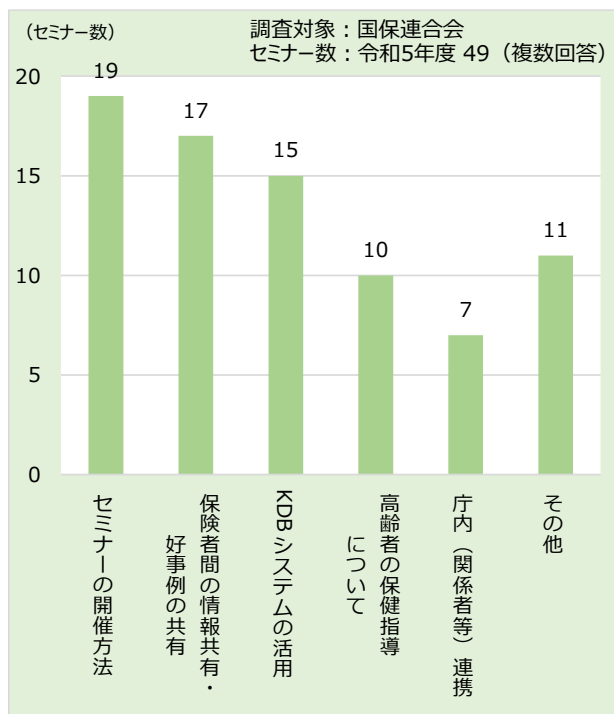
4.高齢者の保健事業セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する要望等～

保険者からのセミナーに対する要望等

セミナーに対する要望等の具体的内容

保険者へのアンケート調査から

セミナーに対する要望等



自由記述形式の要望を見ると以下のようなものがあった。

◆他保険者の事例紹介（15件）

- ・ 他保険者の取組事例を共有したい（9件）
- ・ 「一体的実施・実践支援ツール」を活用している事例
- ・ ハイリスクアプローチの指導の進め方についての好事例
- ・ ポピュレーションアプローチについての事例
- ・ 口腔フレイルに対する事業の事例
- ・ 服薬指導支援（薬剤師と連携）している事例
- ・ 保健事業における数値が改善された好事例

◆KDBシステムの活用（9件）

- ・ KDB補完システムの操作方法についての実践研修会
- ・ 事業に絞って実際に対象者を抽出し活用できる研修（実習を含む）
- ・ 「一体的実施・実践支援ツール」の操作研修
- ・ 介入支援管理の使い方に関して
- ・ KDBシステムによるデータ分析、操作方法 他4件

◆セミナーの開催方法（Web・対面）（9件）

- ・ Web開催（6件）
- ・ 対面開催（2件）
- ・ 回線が不安定の場合があるため録画もあるとよい

◆データ分析・評価等（7件）

- ・ データの分析の仕方や、データの読み取り方（2件）
- ・ 医療費分析力を高めていくような研修
- ・ 具体的に各々計画を持ち寄って評価方法を学ぶ研修
- ・ 団体への介入についての評価方法
- ・ 事業に対する、評価や結果分析 他1件

◆時間配分・スケジュール調整（7件）

- ・ セミナー（講義時間）をもっと長い時間行ってほしい（3件）
- ・ 情報交換の時間を長くしてほしい（3件） 他1件

◆他保険者との情報交換・共有の場（5件）

- ・ 市町村、県及び広域連合等の意見交換の場
- ・ 取組の詳細についての意見交換の時間が欲しい 他4件

◆初任者・職種別等研修（5件）

- ・ 職種別の研修（3件）
- ・ 事業内容を深く理解できる初任者用の研修
- ・ 企画調整役向けの研修や意見交換会



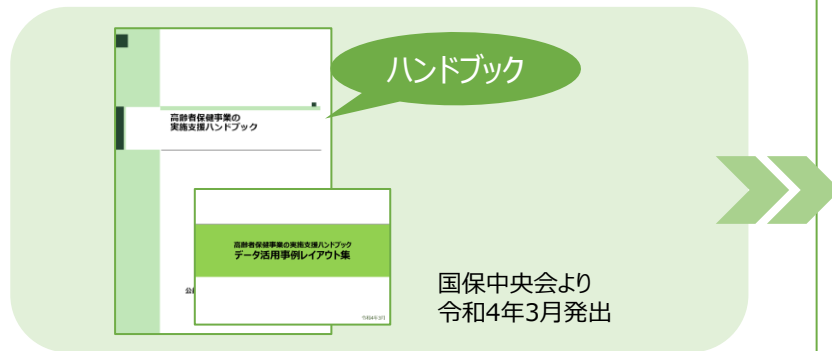
まとめ

自由記述の要望を見ると、良かった点と同様に他保険者の事例紹介に関するものが15件で最も多く、様々な取組に関する事例の要望が見られる。次いで、KDBシステムの活用、セミナーの開催方法に関する要望も多くあった。KDBシステムの活用では、操作方法・実習の要望、セミナーの開催方法では、Web開催、対面開催それぞれの開催要望が見られた。

5.高齢者の保健事業セミナーへの「ハンドブック」の活用状況

「ハンドブック」の活用状況

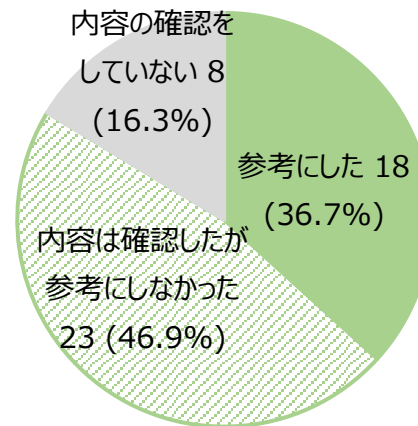
- セミナー実施における「ハンドブック」の活用状況※については、「参考にした」と回答したセミナーは全体の約3分の1であった。



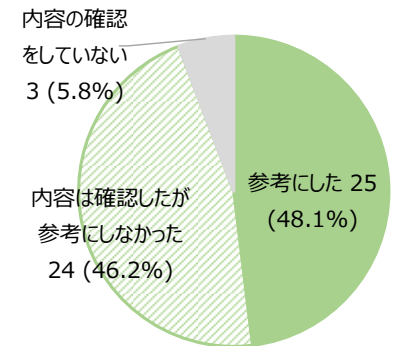
※セミナー内容によって「参考にした」、「参考にしなかった」と分かれた回答があったため、セミナーごとで集計している。

- 参考にした内容については、「セミナー等（集団支援）の実施」が最も多く、次に「国保連合会の保険者支援について」が多かった。

令和5年度

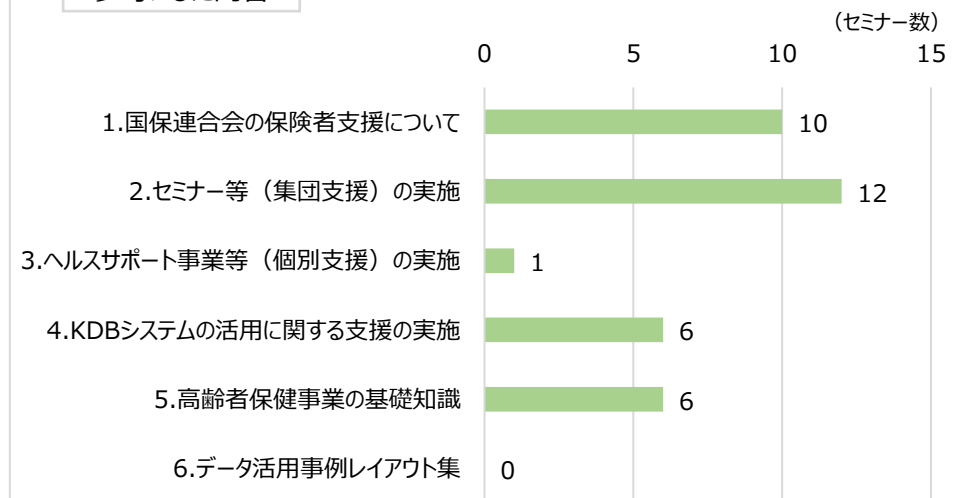


令和4年度



調査対象：国保連合会
セミナー数：令和4年度 52
令和5年度 49

参考にした内容



調査対象：国保連合会 セミナー数：18（複数回答）

5.高齢者の保健事業セミナーへの「ハンドブック」の活用状況

「ハンドブック」を参考にした具体的内容

- 前頁の「参考にした内容」について、**参考にした具体的内容**は、「開催方法の確認」や「国保連合会・広域連合等関係機関の役割を理解するため」等の意見があがっていた。

「ハンドブック」を参考にしなかった理由

- 前頁の「内容は確認したが、参考にしなかった」と回答した23セミナーについて、**参考にしなかった理由**は、「広域連合が主催であったため」等の意見があがっていた。

参考にした具体的内容

- 令和6年度から県内全構成市町村の一体的実施を目的としたセミナーを実施するに当たり、「2.2.3関係者の状況を把握し、課題を整理する」を参考として、講師を招きセミナーを開催した。
- セミナー等（集団支援）の実施は、実施する意義からセミナー内容まで参考にした。
- 広域連合と共催するにあたり、あらためてそれぞれの役割を確認。また、セミナー内容を検討するにあたり、考え方の参考とした。
- 「1.2実施主体としての広域連合を意識する」本セミナー実施にあたり、広域連合と共催で適宜打合せを行いながらセミナーのテーマや実施方法など検討を行った。 他

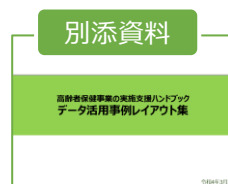
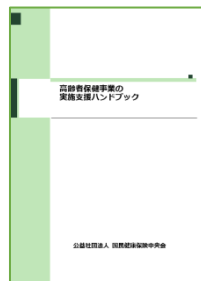
参考にしなかった理由

- 広域連合が主体的に実施し、セミナー内容の企画運営に本会は携わらなかった。
- ハンドブックに掲載されていない部分の説明を主に行ったため。
- 昨年度の研修のアンケート結果などを参考に研修案を立案したため。
- 県内の状況を踏まえ、保険者を限定した研修企画としたため。 他

6.国保中央会より公表している高齢者保健事業関係の資料

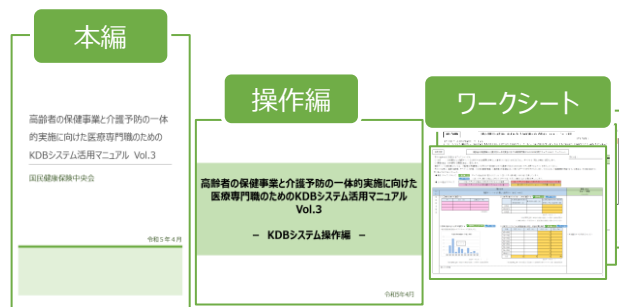
国保中央会より公表している高齢者保健事業関係資料についての要望

高齢者保健事業の実施支援ハンドブック（国保中央会 令和4年3月）



- 具体的な支援内容など、最新の情報提供をお願いしたい。
- 地域の健康課題の分析において、データセットを提供している国保連合会がどのようなデータセットを提供しているのか事例として掲載があると参考になる。
- 広域連合、国保連合会、支援・評価委員会の立ち位置などが分かりやすく、3つが連携して取り組んでいる好事例を紹介してほしい。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた医療専門職のためのKDB活用マニュアル（国保中央会 令和5年4月改訂）



- パワーポイントの資料など参考になっている。最新の活用方法等については随時情報提供をお願いしたい。
- 新しいものを適宜追加してほしい。
- 保険者が一目見て見やすく、分かりやすい内容にしていきたい。
- KDBシステムの保健事業介入支援管理の操作方法が難しく、本マニュアルも複雑で一回見ただけでは理解することが難しい箇所もあるため、保険者がもっと本機能を利用しやすくなるように、より基礎的な、保健事業介入支援管理はどのような機能なのか（概要的な内容）が分かるような資料もあると保険者にも説明しやすいのでありがたい。
- ハンドブック、マニュアルの配付だけでなく、国保連合会向けの説明会（システム活用、ツール説明）を実施してほしい。

Ⅲ 令和5年度の調査結果まとめ

令和5年度 高齢者の保健事業セミナー実施調査結果のまとめ



開催状況

- 高齢者の保健事業セミナーを開催した国保連合会は43連合会で、令和4年度と同数であった。（P.5）
- セミナーの開催方法は、コロナ禍が明けたこともあり対面開催が増加していたものの、総じてWeb開催が最も多かった。（P.6）

実施状況

- セミナーの主催者、共催者は、国保連合会の単独開催が最も多く、令和4年度と比較すると、国保連合会、広域連合、都道府県の3者が関わっているセミナーが減少していた。（P.10）
- セミナー講師の所属別選定状況について、令和4年度は国保連合会からの講師が最も多かったが、令和5年度では大学からが最も多かった。（P.12）

振り返り

- 一体的実施事業の理解度やKDBシステム等のスキルが市町村ごとで異なっているため、セミナー内容のレベルに苦慮している国保連合会が多く見られた。また、関係機関との連携や、セミナーの時間配分、セミナーの講師の選定について課題と感じている国保連合会も複数見られた。（P.14）
- セミナーを受講した保険者の要望では、他保険者の事例紹介が多く、様々な取組事例に関する要望が見られた。また、KDBシステムの活用では操作方法や実習の要望、セミナーの開催方法ではWeb開催、対面開催それぞれの開催要望もあった。（P.16）

ハンドブック活用状況

- ハンドブックを活用して実施したセミナーは、開催された全セミナーのうち約3分の1であった。参考にしなかった理由は、「広域連合が主催であったため」という理由が多かった。（P.17）



IV 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果集計報告

1.令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果まとめ

◆ 5年間の調査結果集計報告概要

令和元年度より始まった「高齢者の保健事業セミナーの実施状況調査」は、令和5年度の調査で5年が経過した。この資料は、高齢者の保健事業セミナーの状況について、5年間の状況及び経年での変化を分析することで、傾向や課題・問題点等を把握し、今後の国保中央会・国保連合会における保険者支援に役立てることを目的としている。

◆ 5年間の集計概要・留意事項

- 令和元年度～令和5年度の各都道府県の国保連合会から回答された「高齢者の保健事業セミナーの実施状況調査」の集計結果をまとめたもの。
- 調査項目が年度ごとで相違している部分があるため、5年分のデータがない場合や集計していない項目がある。
- 調査時期は例年年度末の3月に実施しているが、令和元年度のみ初年度のため2月に実施している。
- 年度で設問の条件が異なっている場合は、下段の※印にて具体的な内容を明記している。

◆ 回収状況

調査対象	国保連合会
調査対象数	47

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回収数	47	47	47	47	47
回収（％）	100	100	100	100	100

1.高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

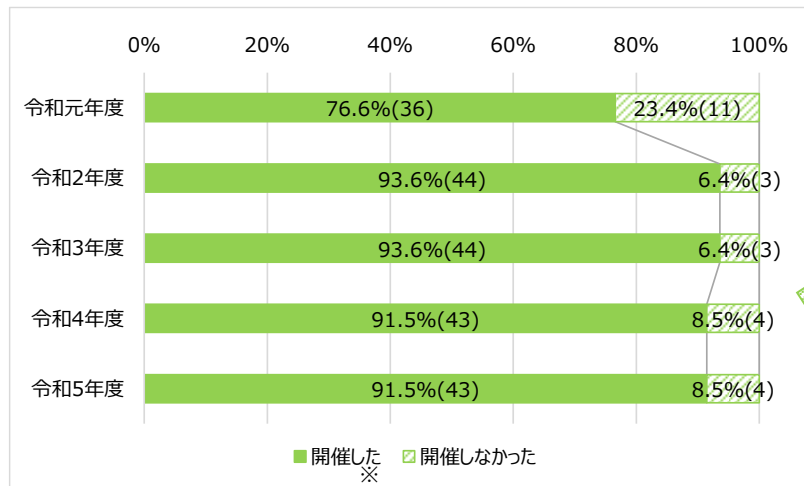
高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

○**年度別のセミナー開催状況※**は、初年度の令和元年度を除くと、9割以上で推移しており、令和2年度以降の4年間はほぼ同程度であった。

○**開催しなかった理由**は、令和元年度・令和2年度は「コロナ禍のため」が多かった。

年度別のセミナー開催状況

調査対象：国保連合会 回答数：47



【国の動向】

○平成30年度

「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」策定、第2版（令和元年度）、第2版補足版（令和3年度）、第3版（令和5年度）

【国保中央会】

○令和元年度

「高齢者の保健事業セミナー実施指針」作成（令和2年度改訂）

○令和4年度

上記、「高齢者の保健事業セミナー実施指針」を「高齢者保健事業の実施支援ハンドブック」へ改訂

未開催の理由

未開催の理由	主催・共催ではないが関わっている	県・広域連合が開催	コロナ禍のため	別の研修会でまとめて実施	その他	未回答
令和元年度	-	-	7	3	1	-
令和2年度	-	-	3	-	-	-
令和3年度	-	1	1	-	-	1
令和4年度	2	-	-	-	-	2
令和5年度	4	-	-	-	-	-

※ 「開催した」に該当するのは以下の事項

令和元年度 ①国保連合会が関わった（主催／共催問わず）

②国保中央会作成の「高齢者の保健事業セミナー実施指針」に沿って開催

令和2年度 令和元年度と同様

令和3年度 特段の明記なし

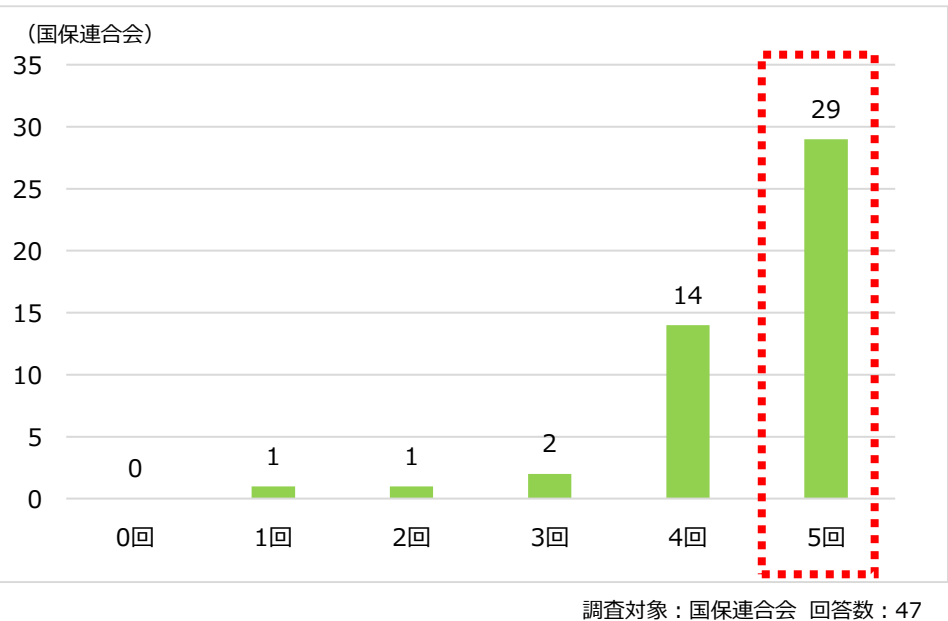
令和4年度～ P.4と同様

2.高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

都道府県別セミナーの開催状況（経年比較）

○都道府県別の開催状況をみると、毎年開催している国保連合会は29連合会あった。一度も開催していない国保連合会はなかった。

5年間のセミナーの開催数※



No.	都道府県	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	毎年開催	一度も開催なし
1	北海道	○	○	○	○	○	○	-
2	青森県	-	○	○	○	○	-	-
3	岩手県	○	○	○	○	○	○	-
4	宮城県	○	○	○	○	○	○	-
5	秋田県	○	○	○	○	○	○	-
6	山形県	○	○	○	○	○	○	-
7	福島県	○	○	-	-	-	-	-
8	茨城県	○	○	○	○	○	○	-
9	栃木県	○	○	○	○	○	○	-
10	群馬県	○	-	○	○	○	-	-
11	埼玉県	○	○	○	○	○	○	-
12	千葉県	-	○	○	○	○	-	-
13	東京都	○	○	-	○	○	-	-
14	神奈川県	○	○	○	○	○	○	-
15	新潟県	○	○	○	-	-	-	-
16	富山県	○	○	○	○	○	○	-
17	石川県	○	○	○	○	○	○	-
18	福井県	○	○	○	○	○	○	-
19	山梨県	○	○	○	○	○	○	-
20	長野県	○	○	○	○	○	○	-
21	岐阜県	○	○	○	○	○	○	-
22	静岡県	○	○	○	○	-	-	-
23	愛知県	○	○	○	○	○	○	-
24	三重県	○	○	○	○	○	○	-
25	滋賀県	-	○	○	○	○	-	-
26	京都府	-	○	○	○	○	-	-
27	大阪府	-	○	○	○	○	-	-
28	兵庫県	-	○	○	○	○	-	-
29	奈良県	○	○	○	○	○	○	-
30	和歌山県	○	○	○	○	○	○	-
31	鳥取県	○	○	○	-	○	-	-
32	島根県	-	-	○	○	○	-	-
33	岡山県	-	○	○	○	○	-	-
34	広島県	○	○	○	○	○	○	-
35	山口県	-	○	○	○	○	-	-
36	徳島県	-	○	-	-	-	-	-
37	香川県	○	○	○	○	○	○	-
38	愛媛県	○	○	○	○	○	○	-
39	高知県	-	○	○	○	○	-	-
40	福岡県	○	○	○	○	○	○	-
41	佐賀県	○	○	○	○	○	○	-
42	長崎県	○	○	○	○	○	○	-
43	熊本県	○	-	○	○	○	-	-
44	大分県	○	○	○	○	○	○	-
45	宮崎県	○	○	○	○	○	○	-
46	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	-
47	沖縄県	○	○	○	○	○	○	-
開催合計		36	44	44	43	43	29	0

※ 年度別で開催を1回とカウントし、5年間で開催している回数を合計したもの。

2.高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

都道府県別セミナーの未開催理由（経年比較）

○都道府県別セミナーの未開催理由について、初年度は、開催の予定はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした連合会が多くみられた。

セミナーを開催していない年度がある都道府県別の未開催理由

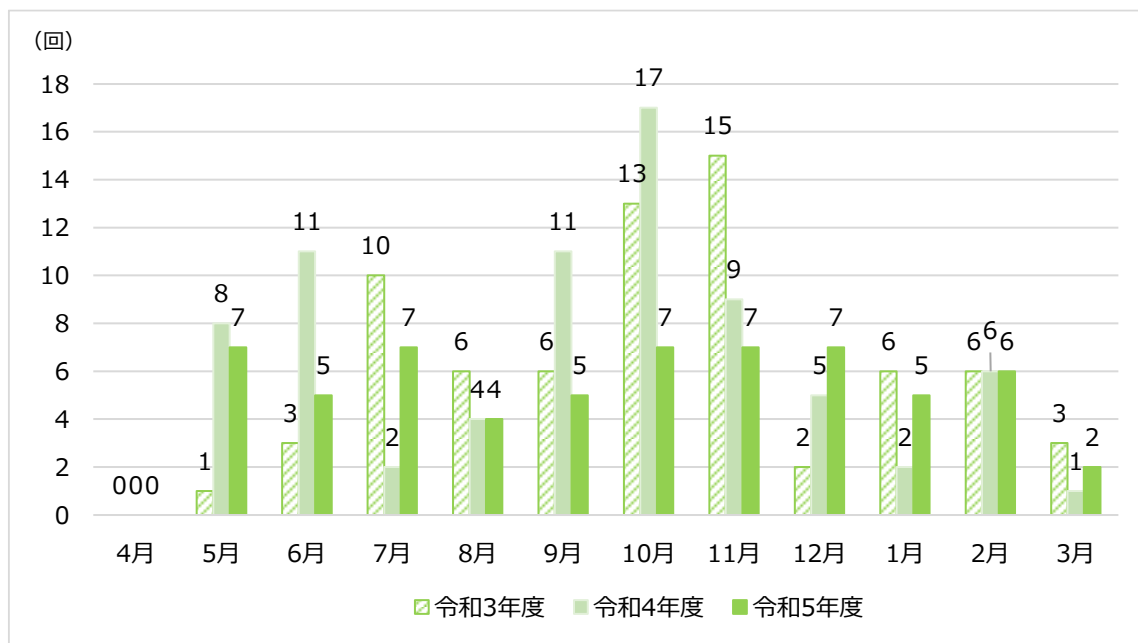
都道府県	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
青森県	すでに別の研修を実施				
福島県			新型コロナウイルス感染症拡大	未回答	主催・共催ではないが関わっている
群馬県		新型コロナウイルス感染症拡大			
千葉県	新型コロナウイルス感染症拡大				
東京都			都や広域連合において実施		
新潟県				主催・共催ではないが関わっている	主催・共催ではないが関わっている
静岡県					主催・共催ではないが関わっている
滋賀県	新型コロナウイルス感染症拡大				
京都府	広域連合及び府との調整が不十分であり、開催時期は未定				
大阪府	新型コロナウイルス感染症拡大				
兵庫県	セミナー指針には沿っていないが別途開催				
鳥取県				未回答	
島根県	新型コロナウイルス感染症拡大	新型コロナウイルス感染症拡大			
岡山県	新型コロナウイルス感染症拡大				
山口県	新型コロナウイルス感染症拡大				
徳島県	すでに別の研修を実施		未回答	主催・共催ではないが関わっている	主催・共催ではないが関わっている
高知県	新型コロナウイルス感染症拡大				
熊本県		新型コロナウイルス感染症拡大			

2.高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

セミナーの開催月（経年比較）

○**セミナーを開催した月※**について、開催月ごとの状況を過去3年間で比較したところ、令和3年度、令和4年度は秋ごろに開催されるセミナーが多い傾向であったが、令和5年度では、年間を通じて、均一に開催される傾向であった。

開催月別のセミナー開催回数



※同内容のセミナーを複数回開催している場合は、各回それぞれの開催した月でカウントし、長期間の動画配信等の場合は、初回配信月で1カウントし集計している。

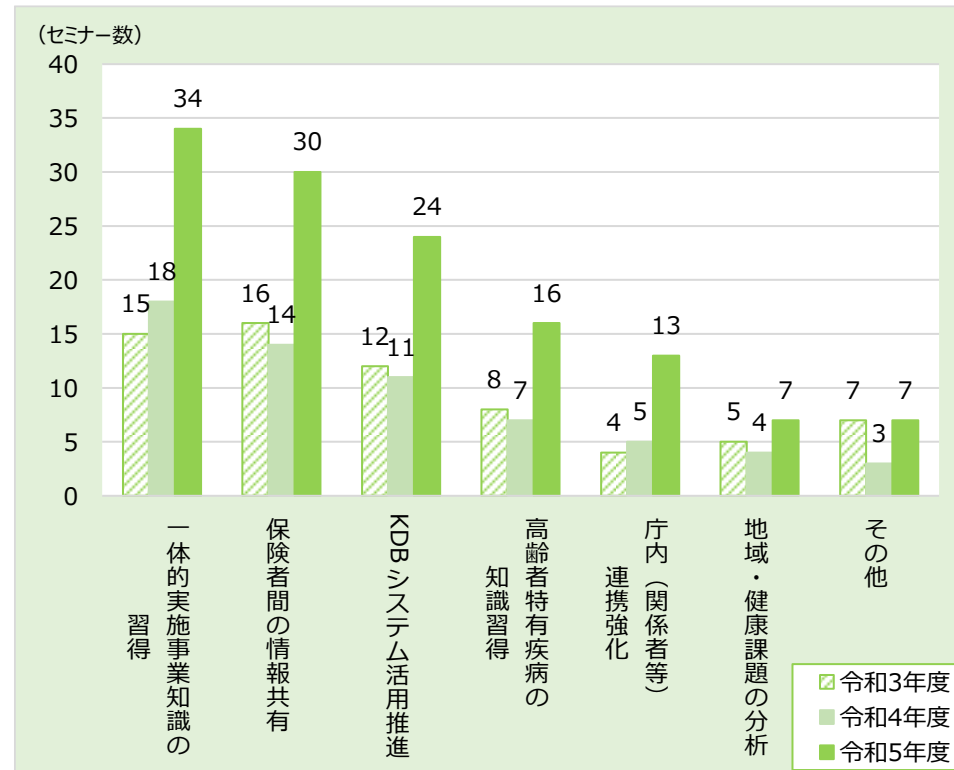
調査対象：国保連合会
 セミナー数：令和3年度 55（複数回答）
 令和4年度 52（複数回答）
 令和5年度 49（複数回答）

2.高齢者の保健事業セミナーの開催状況（経年比較）

セミナーを開催する目的・ねらい（経年比較）

○セミナーを開催する目的・ねらいについては、「知識習得」、「保険者（構成市町村）間の情報共有」をねらいとしたセミナーが経年で多い傾向にあった。

セミナー目的・ねらい



調査対象：国保連合会
セミナー数：令和3年度 55（複数回答）
令和4年度 52（複数回答）
令和5年度 49（複数回答）

3.高齢者の保健事業セミナーの参加状況（経年比較）

セミナーの保険者別参加人数（経年比較）

- 保険者別のセミナー参加人数は、任意回答のため参加人数にバラつきがあるものの、例年多くの保険者が参加していた。
- 市町村国保では、衛生部門の参加が多かった。市町村以外では、広域連合より都道府県の参加人数の方が多い傾向であった。

セミナーの保険者別参加状況

市町村

	令和元年度	令和2年度 ※1	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加市町村数	1,220	1,593	1,794	1,438	1,816
部門別参加人数					
国保部門	779	1,084	2,025	1,112	821
衛生部門	1,035	1,723	1,774	1,651	1,400
介護部門	597	722	734	625	360
後期高齢者部門	425	624	441	391	348
その他	955	244	336	349	68
参加人数合計	3,791	4,397	5,310	4,128	2,997

令和3年度、国保部門の参加者数が突出して多いが、全国の国保部門参加者2,025名中、北海道が513名、長野県196名と2つの道県で3分の1以上を占めていた。

市町村以外

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
都道府県	314	325	395	266	203
うち保健所	- ※2	-	238	122	107
広域連合	142	184	170	170	157
国保組合	25	10	7	2	3
その他	93	122	128	80	55
参加人数合計	574	641	700	518	418

※1 令和2年度以降は、Web開催等で参加人数の把握が難しい場合は、任意回答としている。

※2 令和元年度、令和2年度の保健所については調査なし。

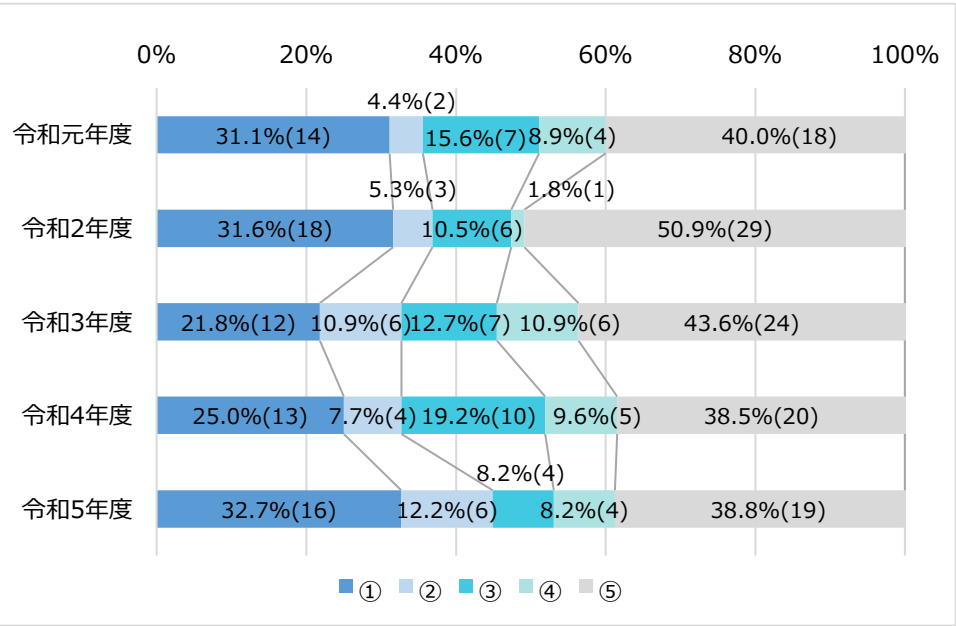
調査対象：国保連合会
 セミナー数：令和元年度 45（複数回答）
 令和2年度 57（複数回答）
 令和3年度 55（複数回答）
 令和4年度 52（複数回答）
 令和5年度 49（複数回答）

4.高齢者の保健事業セミナーの実施状況（経年比較）

セミナーの主催者・共催者（経年比較）

- **セミナー主催者、共催者**の組合せを集計すると、5年間全てで「国保連合会」の単独開催が最も多かった。
- 例年、その他に分類される少数の組合せも多く、その内容は以下の通りであった。
（令和5年度分はP.10に掲載）

セミナーの主催／共催の組合せ※



※ 令和5年度の上位4パターンを経年で比較したもの。

調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 45（複数回答）
令和2年度 57（複数回答）
令和3年度 55（複数回答）
令和4年度 52（複数回答）
令和5年度 49（複数回答）

	主催者	共催者
①	国保連合会	なし
②	広域連合	国保連合会
③	国保連合会	広域連合、都道府県
④	国保連合会、広域連合	なし
⑤	その他	

P.10の掲載以外のその他に分類された
セミナーの主催／共催の組合せ

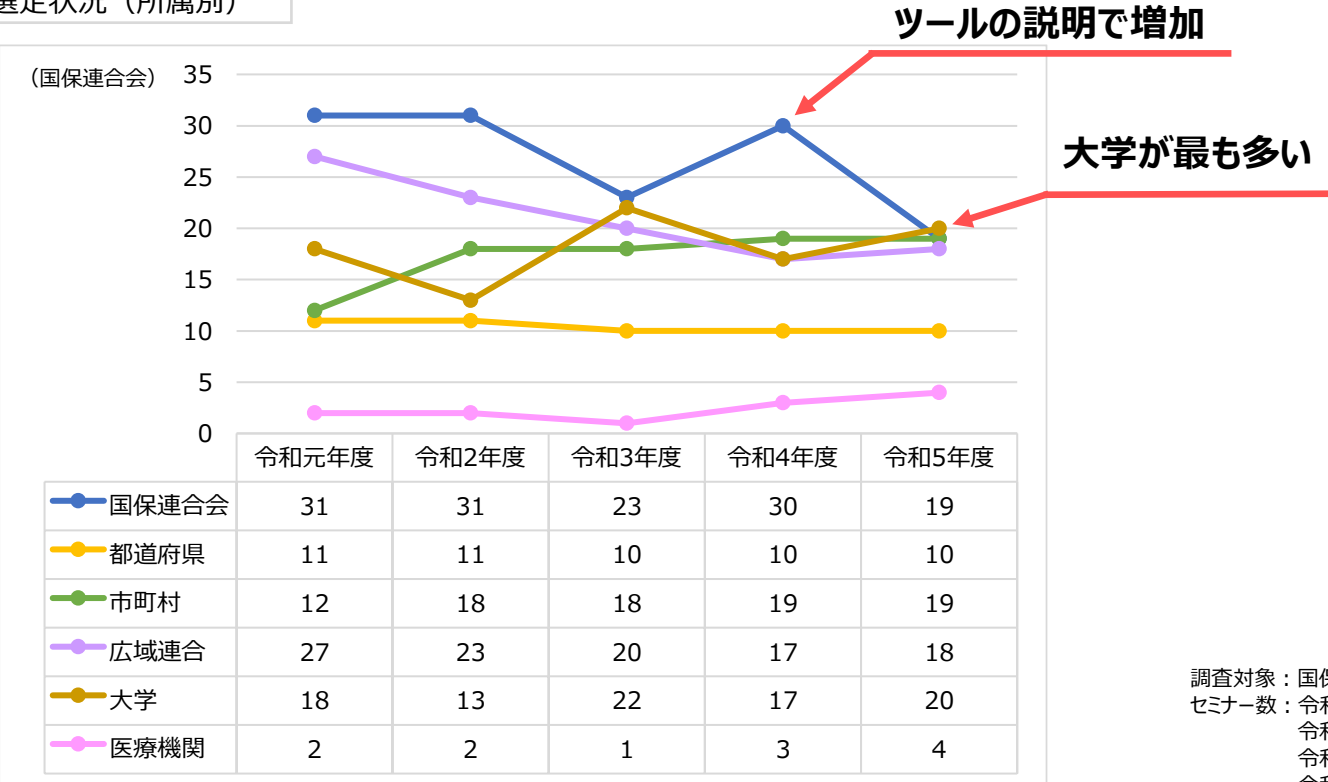
主催者	共催者
国保連合会	その他（市町保健師協議会）
国保連合会、都道府県、その他 （保健師研究協議会）	なし
国保連合会、広域連合、その他 （市町村保健活動推進委員会）	都道府県
都道府県	国保連合会
都道府県	国保連合会、広域連合
都道府県、その他	国保連合会、広域連合
なし	国保連合会、広域連合、都道府県

4.高齢者の保健事業セミナーの実施状況（経年比較）

セミナー講師の選定状況（所属別・経年比較）

- セミナーの講師の所属先※については、令和元年度、令和2年度では、3.4番目であった「大学」が、令和5年度では一番多くなっていた。
- 令和4年度では、「一体的実施・KDB活用支援ツール（以下「ツール」という）」の説明により、「国保連合会」が増加していた。

セミナー講師の選定状況（所属別）



※ 所属名称については、回答された講師の所属機関を基に分類し、都道府県別で集計。（令和5年度はP.12参照）
同一所属で複数人の登壇があっても1カウントで集計している。

調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 45（複数回答）
令和2年度 57（複数回答）
令和3年度 55（複数回答）
令和4年度 52（複数回答）
令和5年度 49（複数回答）

4.高齢者の保健事業セミナーの実施状況（経年比較）

セミナー講師の選定状況（所属別・職種別・経年比較）

- 国保連合会、都道府県、市町村、広域連合の講師は、事務職と医療専門職（保健師等）が行うケースがあるため、内数でその数を示した。
- 都道府県、広域連合は、医療専門職（保健師等）が担当する割合は低く、市町村は高かった。近年では、国保連合会の医療専門職（保健師等）の割合が低くなってきている。

セミナー講師の選定状況（所属別・職種別）※

（国保連合会）

年度	国保連合会	うち医療専門職	都道府県	うち医療専門職	市町村	うち医療専門職	広域連合	うち医療専門職	大学	医療機関
令和元年度	31	7	11	0	12	4	27	2	18	2
令和2年度	31	8	11	2	18	5	23	4	13	2
令和3年度	23	7	10	1	18	12	20	5	22	1
令和4年度	30	6	10	3	19	8	17	4	17	3
令和5年度	19	4	10	2	19	8	18	4	20	4

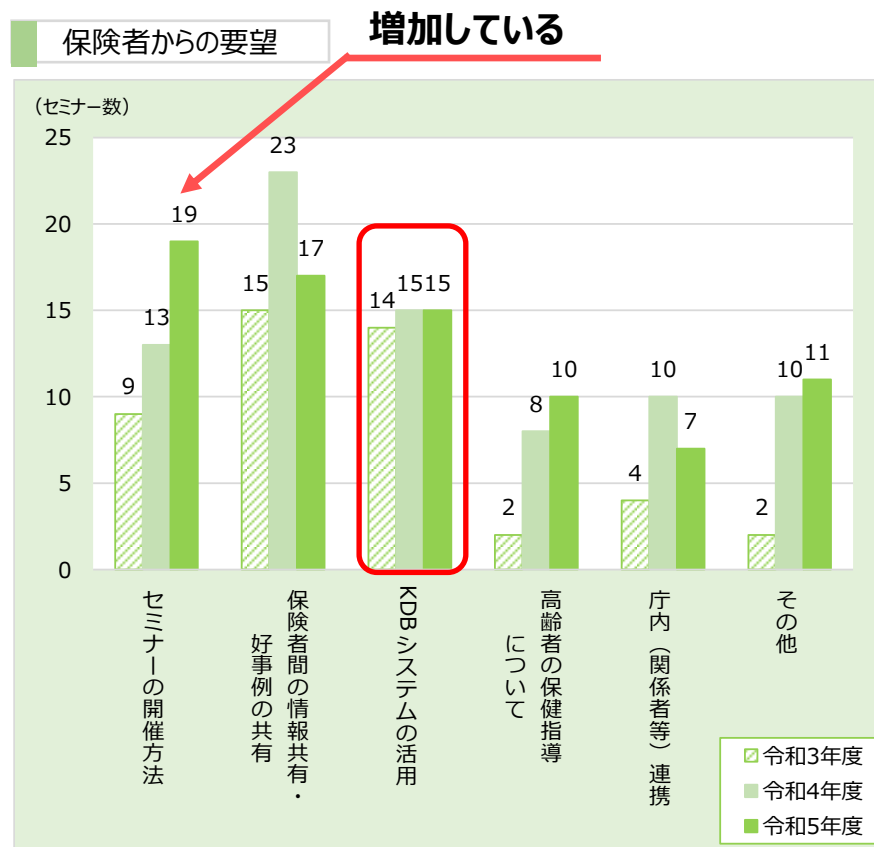
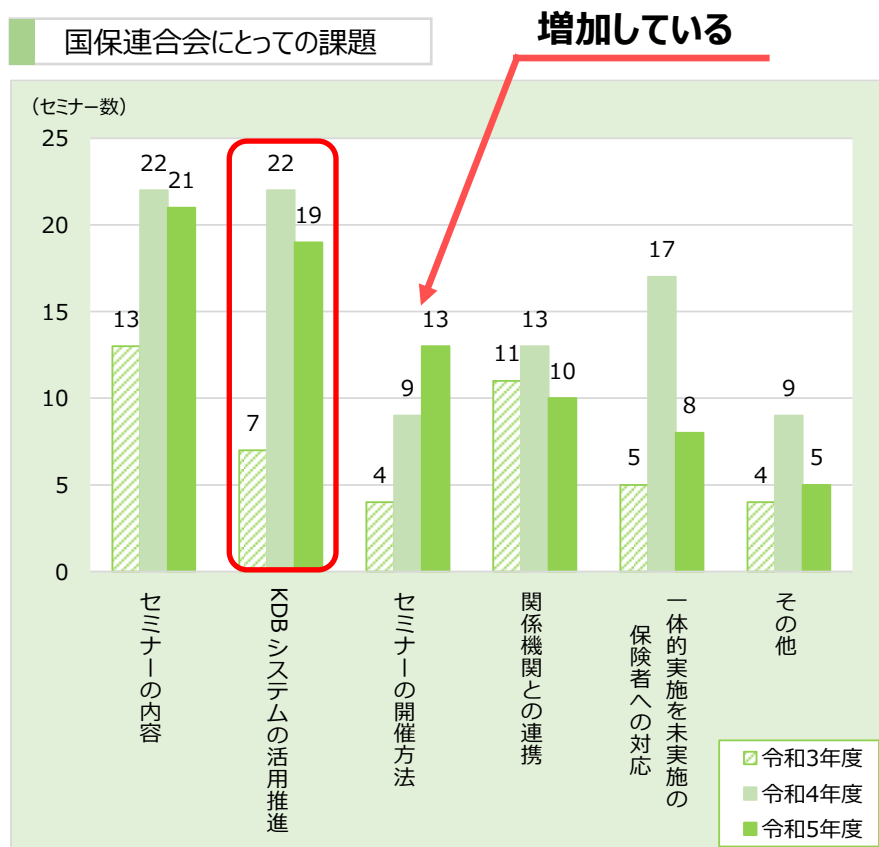
※ 所属名称については、回答された講師の所属機関を基に分類し、都道府県別で集計。（令和5年度はP.12参照）
同一所属で複数人の登壇があっても1カウントで集計している。

調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 45（複数回答）
令和2年度 57（複数回答）
令和3年度 55（複数回答）
令和4年度 52（複数回答）
令和5年度 49（複数回答）

5.高齢者の保健事業セミナーの振り返り（経年比較） ～国保連合会の課題・保険者からの要望～

国保連合会にとっての課題・保険者からの要望（経年比較）

- 国保連合会の課題、保険者からの要望ともに、「セミナーの開催方法」が増加傾向にある。一体的実施の全市町村での取組が進む中、支援者数の増加に対応したセミナーの開催方法が求められていることが想定される。
- 「KDBシステムの活用推進」は国保連合会側の課題、保険者等の要望ともに多く、国保連合会の課題としては最近2年で特に多くなっている。KDBシステムは、一体的実施を行う上での重要なツールであり、一体的実施を開始した保険者等での活用をさらに図っていくための支援が求められていると考えられる。



調査対象：国保連合会 セミナー数：令和3年度 55、令和4年度 52、令和5年度 49（複数回答）